様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 690107	小中学生思い出コンサート事業	主管課名	学校教育課
この事務事業の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成		
	施策	豊かな心と個性が輝くまち	課長名	水野　克弘
	基本事業	教育内容・活動の充実		

(1)事業の概要

事業の対象を、卒業を控えた小学６年生と中学３年生とし、本格的なクラシック音楽の生演奏を聴かせ、その感動を思い出として残す。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	児童生徒参加者数	人
②		
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

平成２５年７月１０日（水）に、文化センターサンアートの大ホールで開催した。午前の部は市内８小学校の６年生、午後の部は４中学校の３年生が参加した。愛知県立芸術大学管弦楽団によるクラシック音楽の生演奏を味わって聴くことで、児童生徒の鑑賞能力を高めた。

26年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①市内小学校６年生
②市内中学校３年生

その指標

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	小学校６年生	人
②	中学校３年生	人
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

クラシック音楽に興味を持つ機会を設ける

その指標

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	思い出になったという児童生徒数／参加児童生徒数	%
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

安心して生活でき、進んで学習できる環境をつくるとともに、規則正しく生活する健康な体力づくりを行う態度を育てる

その指標

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	教育基本計画における重点施策の達成率	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	人	1,553	1,595	1,536	1,563	1,536	1,396
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	847	812	758	784	729	638
	②	人	706	783	778	779	807	758
	③							
(7)の成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%	96.2	98.1	100	100	100	100
	②							
	③							

(10)予算費目　会計　01 一般会計　款 10　項 01　目 02

(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	1,492	1,457	1,986	1,986	1,986	1,986
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,492	1,457	1,986	1,986	1,986	1,986
人件費B		千円	479	524	524	524	524	524
正職員従事時間×人数		時間×人	125 × 1	140 × 1	140 × 1	140 × 1	140 × 1	140 × 1
正職員以外の人件費		千円	8	5	5	5	5	5
その他費用C		千円	46	46	46	46	46	46
トータルコストA+B+C		千円	2,017	2,027	2,556	2,556	2,556	2,556
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	2	2	3	3	4	4
	②	千円/　人	3	3	3	3	3	3
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	690107	小中学生思い出コンサート事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

平成１１年度　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

平成１４年度からは教育委員会の自主事業として継続している。
卒業期の児童生徒にクラシック音楽を味あわせるために開始。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

■ 変化していない
□ 変化している → 変化した内容

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

バス借上げに掛る費用が上昇傾向にある。

3 評価（SEE）

目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	特になし
			この事務を行う根拠又は理由	児童生徒がクラシック音楽を聴く機会は少ないため、生演奏の感動やマナーを守っての行動を体験させることに意義がある。
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	現状で効果を出している。対象児童生徒は毎年変わるため、継続しての実施が望ましい。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 □ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	■ある □ない	内容	平成２４年度より演奏者をＮＨＫ交響楽団団友から愛知県芸術大学管弦楽団に変更することで費用を削減。
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）

(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						